令和4年度学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム

アンケート結果速報

本コンソーシアムについて

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課が実施する「令和4年度学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」では、視覚障害、学習障害などの発達障害、肢体不自由、知的障害、その他の障害を理由として、通常の書籍を利用することが難しい児童生徒の読書活動がより豊かなものになるよう、マルチメディアデイジーや点字資料、LL ブック等のアクセシブルな図書の充実や、必要に応じた図書の複製・翻案や円滑に資料提供・共有が行われる体制づくりを目指しています。

今年度実施したアンケートについて

アンケート調査の目的

このアンケートは、学校図書館における体制や図書・データの共有について実態を調査し、資料 共有のあり方の検討や課題の整理を行うことを目的として実施されました。

調査時期

2022年12月~2023年1月

調査対象

- ① 全国特別支援学校長会に所属している特別支援学校 約1,150校
- ② 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会に所属している特別支援学級・通級指導教室設置校 約17,400 校
- ③ 東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会に所属している東京都の特別支援教室の 拠点校 1,173 校

アンケート調査にあたり、全国特別支援学校長会、全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会、東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会にお力添えをいただきました。 誠にありがとうございました。

方法

オンラインでのウェブアンケート。回収は一部郵送で依頼。

回収率

- · 特別支援学校……696 校(60.5%)
- 特別支援学級・通級指導教室設置校……1,779 校(10.2%)

・ 東京都の特別支援学級・特別支援教室拠点校……159 校(13.6%) →特別支援学級・通級指導教室設置校と東京都の特別支援学級・特別支援教室拠点校は、合 計して「通常学校(1,938 校)」として特別支援学校の結果と比較しています。

アンケート内容

- ① 学校基本情報について
- ② 学校図書館の担当者や設置状況について
- ③ バリアフリーな図書・資料の蔵書状況について
- ④ 校内でのバリアフリーな図書・資料の製作について
- ⑤ バリアフリーな図書・資料の他館からの取り寄せについて
- ⑥ 自校で製作・所有しているバリアフリーな図書・資料の他館への提供について
- ⑦ 著作権法 37 条や読書バリアフリー法等について

結果の概要

- ・ 学校図書館の配置人数の平均として、通常学校では<u>司書教諭 0.8 名、学校司書 0.8 名、ボランティア 3.7 名</u>でした。特別支援学校では<u>司書教諭 1.1 名、学校司書 0.6 名、ボランティア 1.4 名でした。</u>
- ・ 通常学校では、図書館担当として任命されている<u>司書教諭ゼロは約3割、学校司書ゼロも約3割、ボランティアゼロは約7割</u>でした。特別支援学校では、図書館担当として任命されている<u>司書教諭ゼロは約4割、学校司書ゼロは約7割、ボランティアゼロは約9割で</u>した。学校司書の配置について、通常学校より特別支援学校の方が、統計的に有意に少ない人数でした。
- ・ 非常勤の学校司書について、<u>通常学校では週あたり平均 2 日、勤務時間は平均 10 時間</u>に対し、<u>特別支援学校では週あたり平均 0.4 日、勤務時間は平均 1.9 時間</u>と少ないことが示されました。ただし、数値の偏りがとても大きく、中央値で確認した場合は、<u>通常学校では週あたり 1 日勤務、勤務時間は 5 時間</u>、特別支援学校では週あたり 0 日、勤務時間は 0 時間になります。
- ・ 学校図書館専用の部屋の有無について、通常学校で 4.5%、特別支援学校では 31.4%「専用の 部屋がない」という回答でした。
- ・ 学校図書館の図書購入費の平均額について、<u>通常学校では約40万円、特別支援学校では約18</u> 万円であり、通常学校より特別支援学校の方が、統計的に有意に少ない金額でした。
- ・ バリアフリー図書・資料について、<u>約7割~9割の通常学校、約6割~9割の特別支援学校に</u> 蔵書がないことが分かりました。特別支援学校においては、点字図書や拡大図書等は2割程 度、さわる絵本も4割程度蔵書があるようです。特別支援学校には、障害種ごとの困難さに 対応した蔵書がある学校もあるようですが、標準偏差から偏りも大きく、<u>蔵書がある学校と</u> ない学校の差が大きい可能性が示唆されました。また、<u>デジタルデータ(テキストデータや</u> EPUB等)については、通常学校、特別支援学校ともに、蔵書はほぼないという結果でした。
- ・ バリアフリー図書・資料の製作・取り寄せ・提供経験については、<u>9割以上の学校で経験なし</u> という回答でした。
- 学校図書館ができるバリアフリー図書・資料の製作やその共有、またデータの公衆送信がで

きることについて、「知っている」という回答は約1割、「知っているが具体的にはわかっていない」という回答は約3割でした。

課題

専門性のある司書教諭や学校司書の配置が少ないことが分かりました。特に、特別支援学校では学校司書ゼロも多く、図書購入費の予算も通常学校の半分以下でした。バリアフリー図書の蔵書状況もとても少ないため、専門性のある司書教諭や学校司書の配置やバリアフリー図書・資料の効果的な共有方法の構築が求められると思います。著作権法第37条で認められている、学校図書館による資料の製作・取り寄せ・提供に関する正しい知識の啓発も必要なことが分かりました。

結果の詳細

(1)学校基本情報について

- ・ 通常学校の児童生徒数の平均は約300名、学級数の平均は約14学級でした。
- 特別支援学校の児童生徒数の平均は約120名、学級数の平均は約30学級でした。
- ・ 設置区分は、公立学校が9割以上でした。
- ・ 通常学校の内訳として、小学校が約7割、中学校が約3割でした。
- ・ 特別支援学級の障害種の内訳としては、肢体不自由(約9割)、自閉症・情緒障害(約9割)、 弱視(1.5割)の順で多くみられました(複数回答あり)。
- ・ 通級指導教室・特別支援教室の障害種の内訳としては、学習障害(約7割)。注意欠陥多動性 障害(約6割)、情緒障害(約5割)の順で多くみられました(複数回答あり)。
- ・ 特別支援学校の所以外種の内訳としては、知的障害(約7割)、肢体不自由(約3割)、病弱・ 身体虚弱(約2割)の順で多くみられました。
- ✓ 以下、学校基本情報に関する詳細な数値の表です。

1-1.全校児童生徒数と学級数

	通常	常学校(#=193	8)	特別	特別支援学校(1=696)			
	平均値中央値標準		標準偏差	平均值	中央値	標準偏差		
全校児童生徒数	307.1	272.5	226.9	120.9	90.0	98.3		
学級数	13.6	12.0	7.2	29.7	23.0	20.6		

1-2. 設置区分

	通常学	校	特別支	特別支援学校		
•	該当数	%	該当数	%		
国立	3	0.2	23	3.3		
公立	1929	99.5	662	95.1		
私立	6	0.3	11	1.6		
合計	1938	100.0	696	100.0		

1-3. 通常学校の内訳

	該当数	%
小学校	1381	71.3
中学校	534	27.6
義務教育校	15	0.8
高等学校	1	0.1
小中一貫教育校	7	0.4
合計	1938	100.0

1-4. 通常学校での特別支援学級等の設置状況

		該当数	%
特別支援学級+通級		768	39.6
特別支援学級のみ		1010	52.1
通級のみ		1	0.1
特別支援学級+特別支援教室(東京都)		117	6.0
特別支援教室のみ(東京都)		42	2.2
	合計	1938	100.0

1-5. 特別支援学級での障害種の内訳(ル-1895)

障害種	該当数	%
知的障害	67	3.5
肢体不自由	1763	93.0
病弱・身体虚弱	279	14.7
弱視	285	15.0
難聴	147	7.8
言語障害	110	5.8
自閉症・情緒障害	1679	88.6

[※]複数回答あり

1-6. 通級指導教室・特別支援教室での障害種の内訳(1=928)

障害種	該当数	%
言語障害	410	44. 2
自閉症	431	46.4
情緒障害	508	54.7
弱視	12	1.3
難聴	60	6.5
学習障害	607	65.4

注意欠陥多動性障害	532	57.3
肢体不自由	12	1.3
病弱・身体虚弱	10	1.1

※複数回答あり

1-7. 特別支援学校での障害種の内訳(ア-696)

 障害種	該当数	%
視覚障害	69	9.9
聴覚障害	83	11.9
知的障害	476	68.4
肢体不自由	225	32.3
病弱・身体虚弱	110	15.8

※複数回答あり

(2-1)学校図書館の担当者について

- ・ 学校図書館の配置人数の平均として、通常学校では司書教諭 0.8 名、学校司書 0.8 名、ボランティア 3.7 名でした。特別支援学校では司書教諭 1.1 名、学校司書 0.6 名、ボランティア 1.4 名でした。中央値では、特別支援学校の学校司書の配置人数は 0 名でした。
- ・ 通常学校では、図書館担当として任命されている司書教諭ゼロは約3割、学校司書ゼロも約3割、ボランティアゼロは約7割でした。特別支援学校では、図書館担当として任命されている司書教諭ゼロは約4割、学校司書ゼロは約7割、ボランティアゼロは約9割でした。学校司書の配置について、通常学校より特別支援学校の方が、統計的に有意に少ない人数でした。
- ・ 非常勤の学校司書について、通常学校では週あたり平均 2 日、勤務時間は平均 10 時間に対し、特別支援学校では週あたり平均 0.4 日、勤務時間は平均 1.9 時間でした。ただし、数値の偏りがとても大きく、中央値で確認した場合は、通常学校では週あたり 1 日勤務、勤務時間は 5 時間、特別支援学校では週あたり 0 日、勤務時間は 0 時間になります。
- ・ 「この 2 年間で障害(特別支援教育ニーズ)のある図書館利用者のサポートに関する研修を図書館運営に関わる担当者が受講した」については、95.3%の学校が、研修未経験と回答しました。

✓ 以下、学校図書館の担当者と研修の有無に関する詳細な数値の表です。

2-1. 学校図書館の担当者について

	通常学校(n=1509-1861)				特別支援学校(n=544-664)			
	平均値	中央値	標準偏差	ゼロ回答	平均值	中央値	標準偏差	ゼロ回答
図書館担当として任命されて いる司書教諭の人数	0.8	1.0	0.7	630 (33. 9%)	1.1	1.0	1.1	249 (37. 4%)
内訳として、専任の人数	0.1	0.0	0.4		0.0	0.0	0.2	
内訳として、兼任の人数	0.7	1.0	0.6		1.1	1.0	1.1	
司書教諭以外の 教員担当者人数	0.8	1.0	0.9		1.6	1.0	2.1	
学校司書全員の人数	0.8	1.0	0.7	590 (31.7%)	0.6	0.0	1.3	461 (69. 4%)
内訳として、常勤の人数	0.4	0.0	0.6		0.5	0.0	1.3	
内訳として、非常勤の人数	0.5	0.0	0.5		0.1	0.0	0.3	
非常勤の週当たりの勤務日数	2.0	1.0	2.8		0.4	0.0	1.8	
非常勤の週当たりの所定労働 時間	10.7	5.0	23. 4		1.9	0.0	7.3	
ボランティアの人数	3.7	0.0	8. 2	1209 (65.8%)	1.4	0.0	16.6	620 (93. 9%)

2-2. 研修経験の有無

	研修経験あり		研修経験	なし	合計	合計		
	該当数	%	該当数	%	該当数	%		
通常学校	76	4.1	1786	95.9	1862	100.0		
特別支援学校	44	6.6	622	93.4	666	100.0		
合計	120	4.7	2408	95.3	2528	100.0		

(2-2)学校図書館の部屋数と平米数について

- ・ 学校図書館専用の部屋の有無について、通常学校で 4.5%、特別支援学校では 31.4%「専用の 部屋がない」という回答でした。兼用の部屋として、オープンスペースや多目的ホール、PC 室といった自由記述回答がみられました。
- ・ 学校図書館専用の部屋の平米数の平均として、通常学校では 114.6 平米、特別支援学校では 57.8 平米で、特別支援学校の方が、学校図書館専用の部屋数および面積も、通常学校より数 が少なく面積も狭いという傾向がみられました。

✓ 以下、学校図書館の部屋数と平米数に関する詳細な数値の表です。

2-3. 専用の図書館の部屋数

	0 部	部屋 1部月		屋	2 部屋	以上	合計		
	該当数	%	該当数	%	該当数	%	該当数	%	
通常学校	66	4.5	1302	88.9	96	6.6	1464	100.0	
特別支援学校	174	31.4	351	63.4	29	5.2	554	100.0	
合計	240	11.9	1653	81.9	125	6.19	2018	100.0	

2-4.専用の図書館の平米数

	通常:	学校(n=13	343)	特別	支援学校(၊	n=512)
	平均值	中央値	標準偏差	平均值	中央値	標準偏差
学校図書館専用の部屋の 平米数	114. 6	100.3	108. 2	57.8	40.6	111.3

(2-3)学校図書館の貸出システムと蔵書・貸出状況について

- ・ 学校図書館の貸出システムは、「電子化されたシステム」を使用している学校は約6割でした。 蔵書数や貸出冊数の把握とほぼ同数の傾向が伺えました。なお、特別支援学校の「貸出シス テムなし」「電子化されてないシステム」の該当数は、通常学校より統計的に有意に大きい数 値でした。
- ・ 令和3年度末時点の数値として、通常学校の蔵書タイトル数の平均は約1万書目、貸出冊数 の平均は約1万3千冊でした。特別支援学校では、蔵書タイトル数の平均は約5千書目、貸 出冊数の平均は約1千冊でした。通常学校より特別支援学校の方が、蔵書数も貸出冊数も統 計的に有意に少ない数値となりました。
- ✓ 以下、学校図書館の貸出システムと蔵書・貸出状況に関する詳細な数値の表です。

Table2-5. 図書館の貸出システム

	貸出システム		電子化さ	電子化されて		された	合計	
	なし		いないシステム システム		テム	ΠĒ	i I	
	該当数	%	該当数	%	該当数	%	該当数	%
通常学校	92	6.2	281	19.1	1100	74.7	1473	100.0
特別支援学校	119	21. 0	293	51.8	154	27.2	566	100.0
合計	211	10 .	574	28. 2	1254	61.5	2039	100.0

Table2-6. 図書蔵書数の把握の有無

	把握している 把握し		把握してい	いない	合計	-
	該当数	%	該当数	%	該当数	%
通常学校	1198	58.8	275	13.5	1473	72.2
特別支援学校	412	20.2	154	7.6	566	27.8
合計	1610	79.0	429	21.0	2039	100.0

Table2-7. 図書貸出冊数の把握の有無

	把握している		把握してい	ハない	合計	合計		
	該当数	%	該当数	%	該当数	%		
通常学校	1148	77.9	327	22.2	1473	100.0		
特別支援学校	339	59.9	227	40.1	566	100.0		
合計	1487	72.9	554	27.2	2039	100.0		

2-8. 令和 3 年度末時点の蔵書タイトル数と貸出冊数

	通常学校(n=1193-1135)				特別支援学校(n=410-339				
	平均值	中央値	標準偏差	平均值	中央値	標準偏差			
蔵書タイトル数	10413.8	9000.0	27707.5	4825.4	6506.0	6545.2			
貸出冊数	12559.6	3398.5	6545.2	1148.6	438.0	2487.4			

(2-4)学校図書館の図書購入費について

- ・ 学校図書館の図書購入費について、通常学校の図書購入費の平均は約40万円、うち私費(PTA 会費や寄付金等)の平均は約4万円でした。特別支援学校の図書購入費の平均は約18万円、 うち私費(PTA 会費や寄付金等)の平均は約4万円でした。通常学校より特別支援学校の方が、 図書購入費は有意に少ない数値となりました。
- ✓ 以下、図書購入費に関する詳細な数値の表です。

2-9. 図書購入費

	通常学	学校(n=1427-1299)			特別支持	爰学校(n=55	4-477)	
	平均値	中央値	標準偏差		平均値	中央値	標準偏差	
図書購入費	402910.3	330000.0	346163.5		180545.2	112350.0	204646.3	
うち、私費	37524.9	0.0	93801.0		43139.7	0.0	104031.8	

(3)バリアフリー図書・資料の蔵書状況について

- ・ バリアフリー図書・資料について、約7割~9割の通常学校、約6割~9割の特別支援学校に 蔵書がないことが分かりました。
- ・ 特別支援学校においては、点字図書や拡大図書等は2割程度、さわる絵本も4割程度蔵書があるようです。特別支援学校には、障害種ごとの困難さに対応した蔵書がある学校もあるようですが、標準偏差から偏りも大きく、蔵書がある学校とない学校の差が大きい可能性が示唆されました。
- ・ デジタルデータ(テキストデータや EPUB 等)については、通常学校、特別支援学校ともに、蔵書はほぼないという結果でした。
- · 蔵書がある学校は、学校予算での購入の他、寄贈での入手が多いようです。
- ・ 「バリアフリーな図書・資料を入手したことがない、または積極的な入手に困難さを感じている理由」については、予算のなさ等の回答も約2~3割みられましたが、「特に困っていない」という回答も約4割と多く、ニーズの把握から課題があることが推察されました。なお、「どの媒体が児童生徒のニーズに合っているかが分からない(通常学校で約2割、特別支援学校で約1割)」「依頼されたことがない(通常学校で約3割、特別支援学校で約2割)」という回答は、通常学校の方が特別支援学校よりも統計的に有意に多い回答がみられました。
- ✓ 以下、バリアフリー図書・資料の蔵書状況に関する詳細な数値の表です。

3-1. 通常学校のバリアフリー図書・資料の蔵書状況(n=1416-1419)

		直	は書あり			蔵書な	ぶし
	平均值	標準偏差	中央値	最小値	最大値	該当数	%
点字図書	1.7	4.9	0.0	0.0	100	1038	73. 2
録音図書	1.1	19.0	0.0	0.0	700	1350	95.3
拡大文字図書	1.4	8.1	0.0	0.0	187	1304	92.0
LL ブック	0.5	3.8	0.0	0.0	100	1331	93.8
さわる絵本	1.0	2.8	0.0	0.0	30	1088	76.8
布の絵本	0.1	0.5	0.0	0.0	10	1391	98.0
マルチメディアデイジー	2.6	38.4	0.0	0.0	734	1377	97.1
テキストデータ	0.0	0.4	0.0	0.0	13	1413	99.6
EPUB	0.0	0.9	0.0	0.0	33	1414	99.6
DOCX	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1417	99.9
PDF	0.0	0.1	0.0	0.0	2	1416	99.8
手話付き映像メディア	0.0	0.5	0.0	0.0	15	1409	99.3

3-2. 特別支援学校のバリアフリー図書・資料の蔵書状況(n=537-539)

		莀	護書あり			蔵書な	<u> </u> よし
	平均值	標準偏差	中央値	最小値	最大値	該当数	%
点字図書	226.7	1110.5	0.0	0.0	14300	438	81.6
録音図書	70.3	350.6	0.0	0.0	5664	431	80.3
拡大文字図書	31.9	147.3	0.0	0.0	2369	439	81.6
LL ブック	2.1	12.9	0.0	0.0	240	461	85.5
さわる絵本	11.1	37.6	0.0	0.0	393	335	62.4
布の絵本	1.6	5.1	0.0	0.0	50	416	77.5
マルチメディアデイジー	50.7	168.0	0.0	0.0	1639	394	73.4
テキストデータ	1.3	27.3	0.0	0.0	633	526	97.6
EPUB	0.0	0.1	0.0	0.0	1	537	99.6
DOCX	0.0	0.1	0.0	0.0	1	537	99.6
PDF	0.0	0.3	0.0	0.0	6	533	98.9
手話付き映像メディア	0.9	7.0	0.0	0.0	124	506	93.9

3-3. バリアフリーな図書・資料を入手したことがない、または積極的な入手に困難さを感じている理由

		 校	特別支援等	 学校
	(n=193	38)	(n=696))
	該当数	%	該当数	%
予算がない	461	23.8	182	26.1
どの媒体が児童生徒のニーズに	468	24. 1	95	13.6
合っているかが分からない	400	24. 1	90	13.0
入手方法が分からない	138	7.1	52	7.5
希望の図書が取り寄せ先にない	26	1.3	12	1.7
製作方法が分からない	83	4.3	35	5.0
音訳ボランティアなどの	109	E 4	<i>1</i> 1	5.9
製作人材がいない	109	5.6	41	5.9
依頼されたことがない	655	33.8	170	24.4
特に困っていない	733	37.8	273	39.2

[※]複数回答あり

(4)バリアフリー図書・資料の製作・取り寄せ・提供経験について

・ 90%以上の学校で、バリアフリー図書・資料の製作・取り寄せ・提供の経験はないという回答

でした。

- ・ 製作経験については、特別支援学校の方が通常学校よりも有意に経験が多いという結果でした。
- ・ ごく一部の学校図書館で、県立や市町村立図書館からの取り寄せや、他の学校図書館への提供経験があるようです。
- ✓ 以下、バリアフリー図書・資料の製作・取り寄せ・提供経験に関する詳細な数値の表です。

4 バリアフリー図書・資料の製作・取り寄せ・提供経験の有無

	通常学校(n=1414-1419)					特別支援学校(n=533-538)				
	経験あ	(i)	経験な	経験なし		経験あり		経験なし		
	該当数	%	該当数	%	•	該当数	%	該当数	%	
製作経験	31	2.2	1388	97.8	•	49	9.1	489	90.9	
取り寄せ経験	66	4.7	1349	95.1		64	12.0	470	88.0	
提供経験	8	0.6	1406	99.4		10	1.9	523	98.1	

(5)著作権法 37 条や読書バリアフリー法等について

- ・ 学校図書館ができるバリアフリー図書・資料の製作やその共有、またデータの公衆送信ができることについて、「知っている」という回答は約1割、「知っているが具体的にはわかっていない」という回答は約3割でした。
- ✓ 以下、著作権法 37条や読書バリアフリー法等に関する詳細な数値の表です。

5-1. 学校図書館でさまざまなバリアフリー図書の製作(複製)が自由にできることを知っていましたか。

	通常学校		特別支持	特別支援学校		+
·	該当数	%	該当数	%	該当数	%
知っている	161	11.5	86	16.4	247	12.8
知っているが具体的にはわかっていない	502	35.9	200	38.2	702	36.5
知らなかった	737	52.6	237	45.3	974	50.7
合計	1400	100.0	523	100.0	1923	100.0

5-2.製作した図書やそのデータを他の図書館と共有(相互貸借やダウンロード)できることを知っていましたか。

	通常学校		特別支持	特別支援学校		<u>;</u>
·	該当数	%	該当数	%	該当数	%
知っている	156	11.1	71	13.6	227	11.8
知っているが具体的にはわかっていない	385	27.5	165	31.5	550	28.6
知らなかった	859	61.4	287	54.9	1146	59.6
	1400	100.0	523	100.0	1923	100.0

5-3.図書データの公衆送信(メール添付・専用サイトからの ダウンロード・オンライン読み聞かせ等)ができることを知っていましたか。

	通常学校		特別支持	援学校	合詞	
	該当数	%	該当数	%	該当数	%
知っている	143	10.2	84	16.1	227	11.8
知っているが具体的にはわかっていない	351	25.1	141	27.0	492	25.6
知らなかった	906	64.7	298	57.0	1204	62.6
合計	1400	100.0	523	100.0	1923	100.0

以上

【修正歴】

2023年9月27日

- ①軽微な誤字脱字修正
- ②下記4点の表内の%表記について、欠損値を除外した数値に統一
 - 2-1. 学校図書館の担当者について
 - 3-1. 通常学校のバリアフリー図書・資料の蔵書状況
 - 3-2. 特別支援学校のバリアフリー図書・資料の蔵書状況
 - 3-3. バリアフリーな図書・資料を入手したことがない、または積極的な入手に困難さを感じている理由
- ③下記1点の表内の標準偏差が別表の数値だったため、標準偏差を入力
 - 3-2. 特別支援学校のバリアフリー図書・資料の蔵書状況